

ウィンターリーグ特別ルール集

2010 年 10 月 13 日
追記 2016 年 12 月 10 日

1. 基本適用ルール

1. 「横浜市青葉区少年野球連盟大会規定」(平成 22 年 9 月 5 日改訂)を基本ルールとする。
2. 下記に記載するウィンターリーグのルール、規定は、上記の大会規定に優先する。
下記に記載されない物は、前述の「横浜市青葉区少年野球連盟大会規定」が優先する。

2. 選手ルール

1. チーム人数

- ① 各クラス共に、1 チーム 10 名以上 25 名以下。
- ② 現行学年 6 年生の参加は認めない。
- ③ Aクラスは、現行 5 年生以下、Bクラスは現行 4 年生以下の編成とするが、4 年生以下の選手の内指名 4 名のみA・Bに重複登録が可能。
Cを出場させるチームは、重複登録は禁止とする。
- ④ Bクラスのみ、2チーム(C)の登録を認める。
- ⑤ 大会開始前に選手名簿を事務局に提出する。
修正に関しては、A・Bのメンバー入替は認めない。退部・入部・修正の対応を認める。
主将の背番号は 10 で無くとも良い。背番号は、予選リーグ 1 試合目までには、事務局に登録する。

3. 球場の大きさ

1. 塁間

- ① A・B 共に塁間 23 メートル、投手本塁間 16 メートルとする。
- ② B、Cに関しては、当該試合の両監督の合意の下で、投手本塁間のみを 14 メートルにする事も出来る。合意出来ない場合は、16 メートルとする。

4. 試合方法・ルール

1. 予選リーグ

- ① A・B 各クラス 4 ブロックに別れ、総当たりのリーグ戦を行う。
- ② 試合日程、場所は、当該チーム同士で調整の上実施する。
- ③ 試合結果は、勝利チームが速やかに(週末の場合は、翌週の月曜日目処)事務局に下記項目と共に報告する。
 - ・対戦チーム
 - ・試合日時
 - ・試合場所と主催チーム(石灰代の対象)
 - ・試合結果(XX vs YY、及び勝ちチーム)
- ④ 各試合で引き分けの場合は下記の通りとし、必ず勝敗を決する。
 1. 「横浜市青葉区少年野球連盟大会規定」の 3-(1)(2)(3)を行うが、3-(3)に関して

ウィンターリーグ特別ルール集

2010 年 10 月 13 日
追記 2016 年 12 月 10 日

は、90 分以内時間の許す限り繰り返す。

2. 抽選は、当該チームの任意の方法で行う。

⑤ 各ブロックの 1 位のチームが決勝トーナメントに進出する。1 位のチームは、勝ち数によって決定する。

⑥ 各ブロックの 1 位に同順チームがある場合

1. 2 チームが同順: 直接対決の結果にて判定する

2. 3 チーム以上同順: トーナメントを行い、順位を決する。

(ア) 奇数チームの場合、くじ引きで 1 チームがシードとなる。

(イ) 試合は、5 回 60 分で行うが、引き分けの場合「横浜市青葉区少年野球連盟大会規定」の 3-(3)を時間に関係なく勝敗が決する迄行う。

3. 抽選は、当該チームの任意の方法で行う。

⑦ 予選リーグは、2011 年 1 月末までに終了することとする。

2. 決勝トーナメント

① 決勝トーナメントは、各クラス共に準決勝・決勝を行う。3 位決定戦は行わない(2 チームが 3 位となる)

3. 審判

① 基本的に、両チームより主審・塁審を出して運営する。

② 3 人制を基本とするが、両チームの合意で 4 人制も可能とする。

③ 審判は、試合開始 30 分前にグラウンドに行き、グラウンド整備を行う。

④ 決勝トーナメントに関しては、主審は事務局にて用意するが、準決勝の副審は、当該試合以外の他の 2 チームが担当する。

5. ベンチ入り選手数

基本的にはルール準拠だが、昨今の少年野球を取り巻く環境、またプライベート大会で有る事を考慮して次のように取り扱う。

1. 試合開始前に対戦相手の監督に 9 名である説明と合意をとる。

(8 名以下では試合開始出来ない。9 名で説明・合意無しで開始した場合は、発覚した時点で敗戦・試合終了とする。)

2. 9 名の状態で試合開始し、試合中に怪我等で退場となり 8 名となった時点で勝っていても敗戦とし試合終了とする。

3. 怪我等を押して試合を続行しないで下さい。無理をして続行した場合、相手監督の指摘で敗戦とする。

6. 表彰

1. 決勝戦終了後、下記の表彰を行う。

① 優勝・準優勝・3 位

2. 同じく、各チーム各クラスに、優秀賞・敢闘賞を設けて表彰する。